

ネイティブカンジダ・ルゴース・リパーゼ

Cat. No. NATE-0399

Lot. No. (See product label)

はじめに

明 カンジダ・ルゴースリパーゼは、加水分解反応、特にリシノレイン酸の生成を触媒することが知られています。

別名 EC 3.1.1.3; リパーゼ; トリグリセリドリパーゼ; トリブチラーゼ; ブチリナーゼ; グリセロールエステルヒドrolラーゼ; トリブチリンナーゼ; トウイーンヒドrolラーゼ; ステアプシン; トリアセチナーゼ; トリブチリンエステラーゼ; トウイーンエース; アマノ N-AP; タケド 1969-4-9; メイト MY 30; トウイーンエステラーゼ; GA 56; カパラーゼ L; トリグリセリドヒドrolラーゼ; トリオレインヒドrolラーゼ; トウイーン加水分解エステラーゼ; アマノ CE; カコルダーゼ; トリグリセリダーゼ; トリアシルグリセロールエステルヒドrolラーゼ; アマノ P; アマノ AP; PPL; グリセロールエステルヒドrolラーゼ; GEH; メイト産業 OF リパーゼ; 肝リパーゼ; リパジン; ポストヘパリン血漿プロタミン耐性リパーゼ; 塩耐性ポストヘパリンリパーゼ; ヘパリン放出可能肝リパーゼ; アマノ CES; アマノ B; トリブチラーゼ; トリグリセリドリパーゼ; 肝リパーゼ; 肝モノアシルグリセロールアシルトランスフェラーゼ; 9001-62-1

製品情報

由来	カンジダ・ルゴース
形態	粉末、黄褐色
EC番号	EC 3.1.1.3
CAS登録番号	9001-62-1
分子量	Mr ~67 kDa
活性	> 2 U/mg
単位定義	1 Uは、pH 8.0および40 °Cで1 μmolのオレイン酸を1分あたり放出する酵素の量に相当します (基質としてトリオレイン、Fluka No. 62314)。

保管・発送情報

保存方法 2-8°C